

スコアボード

第48回 横浜少年サッカー大会 (市長杯)  
1月7日(土) 10:00~開会式 日産フィールド小机

YFA新春サッカーフェスティバル  
1月9日(祝) 9:00~ 横浜スタジアム  
各年代 交流戦

2023年 臨時会員総会  
3月20日(月) 18:30~ かながわ県民センター

# Breeze

YFA News

発行 一般社団法人横浜サッカー協会  
編集 同 広報委員会  
〒222-0033  
横浜市港北区新横浜2-6-3  
DSM新横浜7F  
TEL(045)474-4315 FAX474-4316  
http://www.yokohama-fa.or.jp  
印刷 神奈川新聞社  
〒231-8445 横浜市中区  
太田町2-23  
TEL227-0739 FAX227-0785



U12-1部 優勝 バディーSC



U10-1部 優勝 バディーSC



U8の部 優勝 横浜すみれSC



少女の部 優勝 横浜かもめLUNA



U12-2部 優勝 品濃ウイングス



U10-2部 優勝 FCアムゼル

**優勝**

U12-1部  
バディーSC

U10-1部  
バディーSC

U8の部  
横浜すみれSC

少女の部  
横浜かもめLUNA

U12-2部  
品濃ウイングス

U10-2部  
FCアムゼル

## 第54回横浜国際チビ子サッカー大会

U12(Sリーグ) 1部・2部、U10、1部・2部、U8、少女、各カテゴリー。今回は新型コロナウイルス感染症感染者が減少したこともあり感染対策を行いながら、例年通りの方法で第54回国際チビ子サッカー大会が行われた。U10・U8・少女は9月6日~11月27日、ブロックに分けて、上位チームによる決勝トーナメントが横浜市内各グラウンドで行われた。U12リーグは9月11日~10月23日、横浜市内各グラウンドで行われた。このU12は前期・後期リーグに分かれ、前期(春季大会)の成績を基に後期(国チビ大会)のブロック分けが行われている。その結果JFA全日本U12サッカー選手権大会神奈川予選参加48チームの出場枠が決まる。そして、全国大会まで繋

大会結果

【U12】

1部 決勝戦	バディーSC	0-0	JFCFC
2部 決勝戦	品濃ウイングス	2-0	FCアムゼル
3位決定戦	品濃ウイングス	2-0	二俣川SC
3位決定戦	品濃ウイングス	2-0	二俣川SC
3位決定戦	品濃ウイングス	2-0	二俣川SC
3位決定戦	品濃ウイングス	2-0	二俣川SC

**YFAスーパーキッズ大会**

27チーム355名参加

今年度2回目となるキッズ大会、YFAスーパーキッズゲームサッカーフェスティバルGOAL44は、10月8日、しんよこフットボールパークにて行われた。チーム数27チーム、355名が参加、父母の声を援を受けてゴールをめざし、

**朝鮮大学校が市長杯争奪 第61回日朝親善サッカー大会**

第61回横浜市長杯争奪日朝親善サッカー大会は、10月22日、23日の二日間にわたり

3位決定戦

金沢 旭ガールズ

1部 決勝戦

バディーSC 3-0 JFCFC

2部 決勝戦

品濃ウイングス 2-0 FCアムゼル

3位決定戦

品濃ウイングス 2-0 二俣川SC

元気がいっぱいボールを追いかけ、当日、日産スタジアムで



観客席からも大きな歓声が

一日目にニッパツ三ツ沢球技場においてY.S.C.Cセカンド対朝鮮大学校によるメインマッチである横浜市長杯争奪戦が行われた。朝鮮大学校が2対0でY.S.C.Cセカンドを下し横浜市長杯を

ニッパツ三ツ沢球技場三ツ沢公園陸上競技場 神奈川朝鮮中高級学校グラウンドにおいて開催された。

10月23日

神奈川朝鮮 1-0	神奈川朝鮮
高登学校 0-3	神奈川朝鮮
神奈川朝鮮 3-1	ワイルドレプン

試合結果は次の通り。

10月22日

U14 1-3	神奈川朝鮮
U14 1-3	中級学校
U14 1-3	中級学校

**優勝の喜びの声**

U12-1部 関屋陽笙

僕は、この大会の準決勝、決勝とケガで出場することができませんでした。試合に出場できない代わりに水を渡すことや、試合中に声を掛けて仲間をサポートしました。そして、仲間を信じていることと勝利してほしいと心から願いました。準決勝では、試合終盤にPKを与えてしまいました。

**バンデリージャ横浜が優勝**

神奈川県地域対抗サッカー大会

11月27日、12月11日の二日間にわたりトーナメント戦を行った。バンデリージャ横浜は、1回戦7対1下和田クラブ(大和市)、準決勝2対2(PK8-7)松浪SCG

**ハーフタイム**

この「Breeze」を初めて発行したのは26年前、1996年、平成8年のことだ。一番最初に決めたのは「Breeze」という名前。広報委員みんながいろいろな名前を出し合った。サッカー協会の広報誌だからサッカーに関する名前もたくさん候補に挙がっていた。その中で、風、港を駆け抜ける風という意味で決まった。サッカー関連の言葉になるかと思っていたので少し違和感もなかったけど、長い付き合いの中でいい名前が付いたと思ってる。発行当初、少年サッカーの「さわやか」と一緒に校正作業をしていた。さわやかは毎月発行で、4面あり、試合結果だけでなく、選手のサッカー家族紹介や現役の新聞記者さんのコラムもあった。家族紹介にはその後リーグで活躍した選手もいる。その「さわやか」も5年前に470号を最後に廃刊になった。今の時代、紙ベースはやっぱりないだろうか？ ネットの便利さにはかなわないのだけれど、見たいときに見られる紙の広報誌も残しておきたいと思いつながら、このBreezeの今後もどうなるか、気になるところである。



